

牛伝染性リンパ腫（BL）と対策

～入門編～



BLとは？

牛伝染性リンパ腫（BL）ウイルスによる病気です
全国的に増えています



急に痩せてくる
元気・食欲なし



リンパ節が腫れる



眼がとび出る

どう拡がるの？

感染牛の血液を介して拡がります
アブの吸血によるものが最も多く、注射器や除角器の使い
まわしも危険です！

予防法は？

ワクチンがありません。着実な感染予防に取り組みましょう

対策のポイント

検査 どの牛が感染しているかを把握しよう

感染＝（イコール）発症ではありません
感染しても、発症するのは数％
そして発症までに数年以上かかるのがほとんど

対策 できることから対策を実践・継続しよう

感染と非感染牛を分けて管理することが基本
牛舎が狭くても対策は可能です
若い牛が感染しないように対策をしましょう

検証 定期的に検証（チェック）をしよう

非感染牛は年に1回チェックしましょう
とう汰順位を決めれば、かならずしも全頭検査を行う必要はありません
農場内陽性率30%以下を目指しましょう

自分の農場の状況を知ることから始めませんか？
貴農場にあった対策を当所が提案します！

BL対策はできることから始めましょう！

① アブ対策

牛舎や牛間に防虫ネットを設置



感染牛と非感染牛を分けて管理



分離が難しい場合は、アブ防除ジャケットの着用



トラップでアブを捕獲（アブキャップ）

薬剤で駆除（ETB乳剤）

② 人の行為も注意！

資器材は1頭毎に交換、又は洗浄消毒

③ 母牛からの子牛への感染防止

アブ対策、初乳製剤の追加給与、2～3か月齢での早期離乳

対策に取り組む農場を応援します！（令和5年4月）

岩手県県南家畜保健衛生所

☎0197-23-3531

岩手県県南家畜衛生推進協議会

☎0197-24-5532